

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 産業構造の変化が男性の仕事を減少させる

1. 今、電機産業は民生機器、半導体分野を中心に、まさしく壊滅的な危機にある。その状況が如実に反映されて、2012年12月、単月では、実に51年ぶりに製造業従事者数が1000万人を割った。また、いまだ503万人の雇用吸収力を持つ建設業もまた、就業者数を減らしていくことになるだろう。2020年の製造業・建設業従事者数は1149万となる見込みだ。10年間に実に400万人も減少することになる。
2. 翻って、就業者数が多少とも伸びるのがサービス業であり、女性の比率の高い産業だ。例えば、医療・福祉や教育の現場では、ホスピタリティ（心からのもてなし）やコミュニケーションが重視され、女性のほうが向いている業種とされている。労働集約的なサービス産業では、世帯収入の補助的役割を果たしてきた女性が、「パート」「契約社員」という非正規雇用で働きやすい環境でもあった。そのため、女性比率が高まった。
3. 現在、製造・建設業では就業者の7割強が男性だが、サービス業では5割になっている。男性比率の高い製造・建設業では雇用が減り、女性比率の高いサービス業では雇用が増えるということは、男性の雇用機会が減り、女性の雇用機会が増えることを意味する。産業構造の変化は、男性の仕事を奪う結果になりそうだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2013年5月11日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 判断に迷った時は経営理念に戻る

1. 花王は、2代目長瀬富郎が社員に問いかけた「現在の花王石鹸は果たして大衆の要求に一致しているか」という言葉を受け継ぎ、「よきモノづくり」などの基本となる価値観、「消費者起点」「絶えざる革新」などの行動原則で事業を展開してきた。尾崎元規花王取締役会会長は「コンパクトで運びやすく、汚れ落ちの良い洗剤など、新商品開発・改良の積み重ねが花王を支えてきた」とも話す。
2. だが、連結従業員3万4000人のグローバル企業となり、国内で先輩から後輩へと伝承してきた経営理念を、どう世界で共有するか、という課題に直面した。そこで、2000年に理念を体系化した「花王ウェイ」を制定した。14カ国語に翻訳し、グループ全員に配布した。尾崎会長は「ただ暗記するのではなく、社員が判断に迷った時に立ち戻るベースとなるように」と話す。

(参考:「週刊東洋経済」:2013年4月20日号)

## 心・健康・環境について

### 自己肯定でストレス減少

1. 現代社会では、いかにストレスを回避するだけでなく、いかにストレスと付き合うかが重要だ。今年5月に発表された米カールゲーメロン大学のクレスウェル博士らの研究によると、自己肯定をするとストレスが減じるといふ。博士らは80人の大学生にストレスの多い環境で1カ月間生活してもらった。試験や実習などの過密スケジュールを想定すればいいだろう。その後、参加者の問題解決能力や創造性を検査すると健常レベルの半数程度の点数に低下していた。
2. ところが、家族や趣味など自分にとって大切なものを頭に浮かべ、「それがなぜ自分にとって大切か」を書き出してもらったところ、前向きな気分になり、点数が元のレベルに回復した。つまりストレスは、環境側が決めるものではなく、受け止める側が決めるというわけだ。

(参考:「週刊エコノミスト」2013年6月11日号)

## 古典に学ぶ

### 根元に戻る

(解説) 自意識を捨て去って、「静」そのものになりきることが大切である。「静」とは何か。万物はひとしく生々発展しているが、その運動は循環して、もとの現象以前の状態に戻る。草木は茂り栄えるが、やがてはみなその根に戻る。この根元に返った状態を「静」という。根元に返ることは自然必然の動きであるから、これを「命に復する」という。それは、宇宙を貫く「法則」である。この法則を知ることが「明知」である。この法則を知らなければ、私意の導くままに妄動し、よからぬ結果を招くのだ。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)